2026年3月17日
大王製紙株式会社

事故発生に関するお知らせ（第二報）

大王製紙株式会社可児工場（住所：岐阜県可児市）で2026年3月10日に発生した設備事故につきまして、その後の状況についてご報告いたします。

本件につきましては、工場近隣の方々をはじめ、多くの関係者の皆様にご迷惑、ご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

記

１．事故の概要

１）発生日時

2026年3月10日9時45分

２）発生場所

大王製紙可児工場内、１系キルン設備（パルプ製造設備の一部）

３）被害状況

（１）人的被害

定期修理中の設備建屋内で、一酸化炭素を含む燃料ガス（以下生成ガス）が漏洩し、協力会社社員5名、大王グループ社員1名の計6名が救急搬送されました。

搬送時には2名が一時意識不明の状態でしたが、その後回復し、全員が退院しております。

（4名は入院治療を経て退院、残る2名は軽症であり、入院には至りませんでした。）

（２）環境への影響

工場外部への影響はありません。

（３）物的被害

物的被害はありません。

２．事故の事象

本件事故は、1系キルン設備における生成ガス用バルブの脱着工事中に発生しました。

作業に先立ち、閉止すべきバルブが適切に閉止されておらず、生成ガスが設備建屋内に流出したことが原因です。

当社では、引き続き事故に至った背景・経緯の詳細を調査するとともに、再発防止策の検討を進めてまいります。

３．生産への影響

予定していた定期修理は所轄当局の工事再開許可が出たことを受け、計画通りに終了しており、生産への影響はありません。

４．業績への影響

計画通り生産活動はできており、業績への影響はありません。

以上